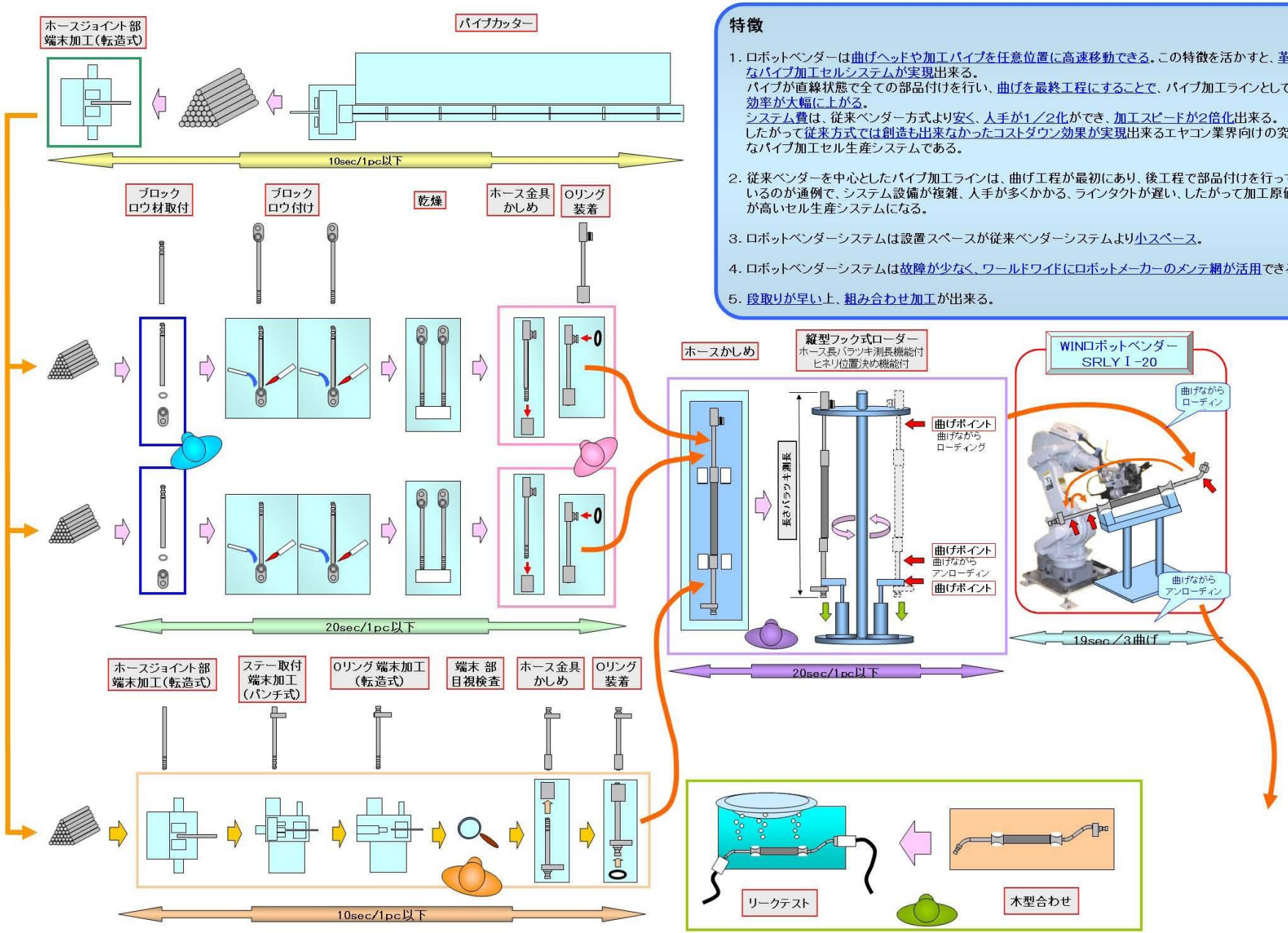
ロボットベンダーによるセル生産加工ライン（曲げ加工の最終工程）



特徴

1. ロボットベンダーは曲げヘッドや加工パイプを任意位置に高速移動できる。この特徴を活かすと、革新的なパイプ加工セルシステムが実現出来る。
   パイプが直線状態で全ての部品付けを行い、曲げを最終工程にすることで、パイプ加工ラインとしての効率が大幅に上がる。
   システム費は、従来ベンダー方式より安く、人手が1／2化ができ、加工スピードが2倍化出来る。
   したがって従来方式では創造も出来なかったコストダウン効果が実現出来るエヤコン業界向けの究極的なパイプ加工セル生産システムである。

2. 従来ベンダーを中心としたパイプ加工ラインは、曲げ工程が最初にあり、後工程で部品付けを行っているのが通例で、システム設備が複雑、人手が多くかかる、ラインタクトが遅い、したがって加工原価が高いセル生産システムになる。

3. ロボットベンダーシステムは設置スペースが従来ベンダーシステムより小スペース。

4. ロボットベンダーシステムは故障が少なく、ワールドワイドにロボットメーカーのメンテ網が活用できる。

5. 段取りが早い上、組み合わせ加工が出来る。